

科目	倫理	単位数	2	学年	3	学級	選択	学科	普通科 国際教養科
----	----	-----	---	----	---	----	----	----	--------------

学習の到達目標	1 古今東西の思想家の考え方を理解し思索を深めることにより、青年期における自己形成を促し、人生を主体的に生きるためのしっかりした人生観・世界観を確立させる。 2 生命倫理や国際化などの現代社会の諸課題に目を向け、自己の課題として考えさせる。
使用教科書 副教材等	教科書:高等学校 新倫理 最新版(清水書院) 副教材:テオリア 最新倫理資料集 二訂版(第一学習社)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	第1編 現代に生きる自己の課題 第1章 人間とは何か 第2章 青年期の課題と自己形成	* 現代という時代における青年である自分にとって、何が課題であるか理解し、その課題について考える。
	5	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学	* ソクラテスを中心に古代ギリシャ哲学について理解し、善き生き方について考える。
	6	第2章 人生における宗教 第1節 キリスト教 第2節 イスラーム	* キリスト教とイスラーム教とユダヤ教の特徴を、3者の比較を通じて理解し、宗教の意義について考える。
	7	第3節 仏教	* 仏教の教えの内容を理解し、現代日本人の生活への関わりについて考える。
	9	第3章 人生の知恵	* 儒家の思想を中心に古代中国の思想について理解し、人間と社会との関係について考える。
後期	10	第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と外来思想の受容 第1節 日本の風土と伝統 第2節 仏教の伝来と隆盛	* 日本の文化的伝統と、外来思想の受容について理解し、本来の日本らしさとは何かを考える。
	11	第3節 儒教の日本化 第4節 日本文化と国学	* 近世日本人の思想を理解し、日本人らしい考え方や生き方について考察する。
	12	第6節 西洋近代思想の受容	* 現代日本の思想的状況について理解し、日本人としてどう生きるべきかを考える。
	1	第5編 現代の諸課題と倫理 第1章 生命と倫理	* 生命操作と倫理の問題について理解し、この問題について自己の意見を持つ。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	歴史上の様々な哲学・宗教・思想に触れ、それを自分自身に関わる問題として理解し、意欲的に学習に取り組んだか。	
	思考・判断・表現	思想史の流れの中に、多様な考え方や生き方が存在することを、その時代背景とともに把握し、それらを広い視野に立って公正に理解できたか。	
	資料活用の技能	色々な資料を様々なメディアを通じて収集し、それらを効果的に活用して知識を増やし、自分自身の考え方の確立に役立てることができたか。	
	知識・理解	先人の哲学や思想を、その問題意識も含めて理解し、自分自身の生き方を確立する上で、さらに現代の倫理的問題を考察する上で、役立つ知識とすることができたか。	
	評価方法	前・後期とも、定期考査の得点を基本とし、課題や授業態度などにもとづく平常点を加味して評価する。年間を通じての評価は、原則的に前・後期の成績の平均とする。	
担当教諭から	授業や教科書・資料集で知識を得るだけでなく、関係する本を数多く読んで欲しいと思います。参考となる図書は、授業の中で紹介します。さらに、自分を取り巻く様々な問題について思索する習慣を身に付け、自分の意見をきちんと持つよう心掛けて欲しいと思います。		